

南信州広域連合第1回広域連合会議 結果報告

日時：令和3年4月19日(月) 13:00～14:15

場所：飯田市役所C棟311～313会議室

【出席者】14市町村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕丹羽局長

〔飯田建設事務所〕細川所長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔町村会〕岡庭事務局長

〔飯田広域消防〕有賀消防長、下平次長兼警防課長、松下総務課長

〔事務局〕吉川事務局長・加藤事務局次長兼総務課長・伊藤地域医療福祉連携課長

伊藤庶務係長・野牧広域振興係長・松澤庶務係主事

1 開会…13:00

2 広域連合長あいさつ

令和3年度、最初の連合会議となる。後ほど新しい事務局体制については紹介するが、新体制の下、広域連合として一丸となり取組んでいきたい。また、コロナ禍が長期化している状況ではあるが、今年度様々な行事等も予定されているかと思う。非常に厳しい状況下ではあるが、広域連合としても、コロナ禍だからと延期や中止にするのではなく工夫をして取組んでいけたらと思う。

最後に、参議院の補欠選挙が始まっているが、投票率の向上を図るため各町村で取組んで欲しい。

3 協議・報告事項

(1) 令和3年度南信州広域連合職員新体制について（新任・昇格職員の紹介） 【広域連合職員】

*資料No.1に沿って新任・昇格職員等の自己紹介を行う。

→ 事務局、環境センターともに職員の入替えのみで体制に変化なし。

消防では、新規採用職員7名を採用。内2名については、数年の消防経験があり即戦力として消防署に配置し勤務についている。

(2) エス・バードの管理・運営状況について 【飯田産業センター】

*エス・バードの利用状況

・R2年度の利用者は735件22,248名。R元年度に63,808人を超える利用があったことを考えると、コロナの影響により二度休館したこと、またホールを中心とした大規模イベントが大幅に減少したことが主な原因。

・インキュベート室は現在6室整備されており、R元年度1者入居。R2年度は、航空関連2者、環境関連1者等の入居があり、現在5者入居。

・エス・バードの利活用の様子やお知らせを、エス・バード通信として隔月で発行。

*指定管理の状況について

・貸館の利用件数、利用者件数の減少により、貸館利用料収入は昨年比25%減。

・施設運営に関わる人件費や光熱水費等は指定管理費や貸館等による利用料収入で賄える見込。

*南信州・飯田産業センターの事業及び体制

・別紙2のとおり（資料No2）

- ・主な変更点としては、H31年1月にエス・バードに産業センターが移転した後、経済変化に対応するための業務の量や質向上のため、R3年4月から事務局長を選任で配置したこと。

*信州大学関連

- ・航空機システム共同研究講座についてH29年度から実施をしてくれているが、R3年度から新たに航空機システム分野横断ユニットが設置された。令和7年3月までの4年間延長と、地元で構成するコンソーシアムについても引き続き支援継続。
- ・これまでに11名の学生が卒業。今年度は新入生が7名入り現在11名が学んでいる。卒業生については重工業企業や航空機産業へ就職。また、教授及び学生の取組みとして、地域の子どもたちに飛行機の教室を開講したが、非常に好評であった。
- ・ランドスケープ・プランニング共同講座（仮称）については、地元準備会及び信州大学農学部と連携しR5年度開講に向けて準備中。

*飯田工業技術試験研究所の運営状況

- ・R3年度から経済産業省WGより推奨された高周波振動試験装置を導入。これまでの4台と併せて計画通り導入が完了。今後は利用促進を進めていく。
- ・R3年度の利用状況は全体で826件。うち、航空機の環境試験52件、EMC277件、食品系試験56件、その他441件。
- ・利用料収入は昨年比11%程度減少の見込。
- ・環境試験機器は、会議や航空機環境評価シンポジウム（ASES）の開催により、引き合いを増加させていきたい。
- ・食品系試験機器は、自社製品の高度化及び高付加価値化に取り組む食品企業の利用が増加。

*産業センターの主な事業

- ・1月にエス・バード内の共創の場に、気軽にデジタル工作を体験し、ものづくりの楽しさを通じて幅広い世代が交流できる工房「ファブスタ★」をオープン。同時期にオープンした水引細工の無料体験コーナーとともに、多くの利用がある。

*エス・バードの目指す方向性等について

- ・H30年度に策定した「産業策定ビジョン（計画期間H30～R10）」について、R3年度からR6年度を中期計画として改定。ビジョンに基づき社会情勢の変化に対応しつつ、当地域の強みを活かしながら産業面で自立し、共に創造し、選ばれる地域を目指す。今後もコロナ禍からの経済再生、地域を支える既存産業の高付加価値を図るとともに、新産業創出へのチャレンジや、大学院生から社会人、将来を担う世代の人材育成に取り組む。

*エス・バードの施設改修整備（V期工事）について

- ・大きな点は振動試験装置の設置、また、エス・バード内の動線が分かりにくいことから、屋内外サインを増設。

（主な意見等）

阿智村：建物内の動線が分かりにくくサインを増設したとのことだが、エス・バードを訪れた際、色分けしたサインがあり、とても分かりやすくなっていて良かった。また、コロナ関係でフェイスシールド等製作しているとのことだが、是非コロナ関係のグッズや防災関係のグッズについて、地元で製作したものをエス・バードで取りまとめて構成市町村へ紹介して頂けるとありがたい。最後に交付金等の活用について、また説明の場を設けて頂けるとありがたい。

担当者：エス・バード通信等にも掲載しているが、医療機関へメイドイン飯田のグッズを配布している。交付金等の活用については今後もこうした場で説明の機会を設けていきたい。

(3) 株南信州観光公社の運営状況について 【南信州観光公社】

*R2年度における実績と今後の取組

- ・市町村資源活用ツアー企画と催行（20回から50回へ増加）。市町村観光担当者と対話の中で、新たに資源化したいもの、これまでできていなかったものについて更なる資源の活用を努めていく。

- ・教育現場で2022年度から本格的に実施される新学習指導要領に併せて、教育旅行（SDGsプログラム）企画営業の実施。部門担当者との相対に力を入れており、R3年度は8校実施予定。
- ・地産地消システム構築について2月22日に設立総会を開催。構成組織は9団体。
- ・観光人材育成として、ガイドインストラクター養成講座の開催（2回実施）。
- ・市町村観光施設等のコンサルティング しらびそ高原天の川

*コロナ禍における地域旅行事業の状況

- ・2月～7月期 全施設において対前年比80%から90%の売上減少
- ・GOTOキャンペーンについては変異株による第4波の影響により、6月以降に先送り予定。
- ・教育旅行については沖縄等からの方面変更、中部圏・県内小中高校の受入促進策を図りたい前年比50%超の売上確保。

*今後の課題

- ・ポストコロナ、with コロナの観光戦略
- ・ポストGOTOキャンペーン
- ・南信州の認知度向上のためのプロモーション戦略
- ・課題解決に向けた観光公社のマンパワー不足の補い
- ・市町村、県、上伊那・木曾地域との連携によるリニア戦略
- ・三遠南信地域と連携した旅行企画における相互送客

→ 質疑なし。

(4) 新型コロナの発生状況について（4/19 現在） 【地域振興局、飯田保健福祉事務所】

- ・長野と諏訪圏域が特別警報Ⅱ。佐久、上田、上伊那、北信圏域が特別警報Ⅰ。
- ・全県でコロナ感染者の増加により4月8日に医療警報発出。
- ・引き続き、個人個人の感染対策が重要であるとともに、各行政機関には感染対策に向けた広報等を改めてお願いしたい。

（主な意見等）

飯田市：変異型も多く出てきているが、取るべき対策は変わらないのか。

担当者：取るべき対策は変わらない。今まで通りの感染対策を徹底することが大事。

(5) 南信州地域公共交通計画（案）について

- *前回会議に引続き、計画（案）について、資料No.5に沿って説明実施。
- *今後、町村担当者会、全員協議会での説明を経て、6月の計画承認を目指す。

→ 質疑なし。

(6) 養護老人ホーム信濃寮の空き居室を利用した契約入所について 【事務局医療福祉連携課】

*資料No.6に沿って説明

- ・現在、管内における養護老人ホームの入所措置状況は、3月末で87.5%の入所率。35人の定員割れ。待機者12名。
- ・信濃寮については定員が80名のところ、欠員が7名。
- ・10名近い欠員が続き経営難の中、空き居室を利用した契約入所を開始したい。

→ 質疑なし。

(7) 飯田広域消防本部から 【飯田広域消防本部】

*13メートルブーム付き多目的消防自動車（新伊賀良23号車）の運用について

- ・運用開始は、R3年4月26日。
- ・屈折式ブームにより、最大地上高13.7m ～ 最低地上高-3.2mと広範囲の救助が可能。
- ・CAFS（泡消火装置）も備えており、火災の状況に応じた有効な消火活動が可能。

- ・今後、運用開始に向け訓練を重ね、災害、広報活動等に有効に活用していきたい。
 - *たき火火災ゼロ運動期間中等における火災発生状況について
 - ・たき火火災ゼロ運動の実施期間 R3年3月1日～3月31日
 - ・期間中、火災は7件（うち、たき火火災は3件）。
 - ・今年1月～3月においては、火災は26件（うち、たき火火災は9件）。
 - ・過去5年間では最も少ない数値。
 - ・たき火火災の傾向としては、週末に発災しているもの、風に煽られて火災になったものが多い。消火の準備がなされていない、出火行為者に高齢者が多いなどの傾向も見られる。
 - ・たき火火災の対策として、届け出時の指導や巡回指導。また春の火災予防運動に併せ、南信州地域振興局と連携した予防活動を行うことで対策していきたい。
- 質疑なし。

(8) 南信州いいむす21登録判定について 【事務局地域振興係】

- *資料No.8に沿って説明。更新1件、新規1件の登録判定。
 - ・多摩川テクノクリエイション株式会社 本社 【更新】84pt 取得。
 - ・南信州広域連合事務局地域医療福祉連携課 【新規】92pt 取得。
- 異議なし。承認。

(9) 後援依頼について 【事務局総務課】

- *資料No.9に沿って説明。4件の後援依頼。
 - ・第6回うるぎトライアルRUN
 - ・第14回武田信玄狼煙会狼煙上げ
 - ・いいだ人形劇フェスタ2021
 - ・2022中部の私立大学・短期大学 大学展 飯田会場
- 異議なし。承認。

4 長野県から連絡事項

*地域振興局

現在、参議院選の補欠選挙が行われているところではあるが、引続き、適切な選挙事務の執行をお願いするとともに、投票率の向上に向けてご尽力いただきたい。

5 当面の日程について

4月26日（月）議会運営委員会（臨時）

6 その他

特になし

7 閉会…14:15